

## 資産運用レポート：嫌われ者を買え

### 1 はじめに

株の世界では、大多数の市場参加者が短期・順張り志向です。

四半期毎の運用パフォーマンスを問われる機関投資家は、じっくりと腰を据えた投資ができません。ほとんどの個人投資家も「短期で手っ取り早く儲けてやろう」と考えています。

そんな彼らは、次のような銘柄を好みます。これらの条件を満たしていれば、我先にと買い注文が殺到するため、株価がもう割安でないにもかかわらず、短期的な急騰を演じたりします。

- 目先の業績見通しが良い
- 株価が上昇を続けている
- 旬のテーマ株である

とはいえ、強者がそろって参戦するババ抜きゲームにて勝利を収めるのは、そう簡単ではありません。素人投資家が下手に飛びつけば、高値掴みになってしまうのが関の山でしょう。

一方で、嫌われるのは、先ほどとは真逆の銘柄です。

- 目先の業績見通しが悪い
- 株価が大幅に下落している
- 相場の注目テーマに含まれていない

この手の不人気株は、短期筋が興味を示さず、買い注文もほとんど入らないため、株価がすでに割安にもかかわらずさらに下げたりします。

ゆえに少数派に属する、長期・逆張り志向の投資家にとっては、このような状況が絶好の投資チャンスとなりえます。

今回の資産運用レポートでは、株式市場の嫌われ者を買えば儲かったケースを取り上げます。